

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-1	医療従事者の確保	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	春田
施策体系	総合計画上の施策名	4	医療体制の強化	
	施策名（評価単位）	(40)	医療体制の強化	

2. 事務事業の目的	市民が安心して医療を受けることができるように、医師・看護師等の医療従事者の確保を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	<p>(1) 事業の実施内容(令和3年度)</p> <p>①医師派遣医療機関との連携強化 岐阜大学病院、松波総合病院 ②研修医の確保 中濃厚生病院 1名、岐阜市民病院 1名、岐阜県総合医療センター 2名、 岐阜大学医学部附属病院 4名 ③看護師奨学金制度の活用 R3 新規貸与者 2名(R3~4 1名、R3~5 1名)</p>
------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">（単位：円）</span>				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費			3,600,000	4,800,000
② 人件費			7,500,000	7,500,000
③ 合計コスト ①+②	0	0	11,100,000	12,300,000
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	110.8%
財源内訳	国・県支出金		0	0
	市債		0	0
	その他特定財源		0	0
	一般財源	0	0	11,100,000
④ 活動一単位当たりコスト	#DIV/0!	#DIV/0!	102,777.8	112,844.0
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	109.8%
⑤ コストに関する増減理由	新規のため、令和元年度及び2年度は記載なし			

(3) 活動指標	指標名	次年度の常勤医師及び看護師数				単位：	人
	指標説明	4月1日現在					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値			108	109		

4. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の常勤医師数が慢性的に不足しているため、岐阜大学病院等への医師派遣を引き続き依頼していきますが、病院での活動には限界があります。</li> <li>・研修医を積極的に受け入れ、医師不足解消へとつなげます。</li> <li>・令和3年度に看護師奨学金を新規で2件貸与しました。</li> </ul>
----------	---

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師及び看護師の勤務環境や条件を整備することで、医療従事者の確保を図ります。</li> <li>・国や県に対して都市部への医師偏在化に対する取り組みを求めています。</li> </ul>		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	井川 勝彦
<p>医療従事者の確保は、市民が安心して医療を受けることができる体制を維持するうえで、極めて重要な取り組みの一つです。今後も、医師派遣医療機関との連携強化を図るほか、医療従事者が働きやすい環境を整備するとともに、国及び県と連携して医療従事者の確保に取り組んでいきます。</p>		

今後の方向性	1. 継続	( 1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合 )
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-2	医療機器の計画的整備	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	市原・春田
施策体系	総合計画上の施策名	4	医療体制の強化	
	施策名（評価単位）	(40)	医療体制の強化	

2. 事務事業の目的	医療水準向上のため、現在未整備である新規医療機器の導入を進めるとともに、老朽化した機器を限られた予算の中で計画的に更新します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<p>更新した医療機器                  ○涙道内視鏡システム   ○温冷配膳車   ○バリアフリースケール   ○高圧蒸気滅菌装置                  ○聴力検査装置   ○一般X線撮影装置   ○オートレンズメーター   ○上部消化管汎用ビデオスコープ                  ○レビテーターII   ○オクトパス万能開創器   ○3D画像解析装置(CT用)</p> <p>平成15年度（新病院移転時）に購入した100万円以上の医療機器、医療情報機器のうち今年度は金額ベースで3.1%更新しました。なお、全体では79.6%の更新が終了しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト <span style="float: right;">（単位：円）</span>					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	178,774,400	90,326,350	41,649,000	41,755,000	
② 人件費	8,625,000	8,625,000	8,625,000	9,000,000	
③ 合計コスト ①+②	187,399,400	98,951,350	50,274,000	50,755,000	
前年度比		52.8%	50.8%	101.0%	
財源内訳	国・県支出金	2,640,000	9,445,000	0	0
	市債	127,200,000	22,300,000	0	0
	その他特定財源	0	13,516,000	10,285,000	0
	一般財源	57,559,400	53,690,350	39,989,000	50,755,000
④ 活動一単位当たりコスト	24,986,586.7	12,368,918.8	16,217,419.4	101,510,000.0	
前年度比		49.5%	131.1%	625.9%	
⑤ コストに関する増減理由	令和3年度は、医療機器購入が減少したことにより、直接事業費が減少しました。（令和2年度はコロナ関連の医療機器を購入）令和3年度、4年度ともに、既に更新を行っている又は新規の医療機器を購入したため、活動一単位当たりコストが増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	医療機器更新率の上昇値				単位：	%
	指標説明	新病院移転時の更新対象医療機器を基準に金額ベースでの更新率の上昇値を算出					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	7.5	8.0	3.1	0.5		

4. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院内の各部局の意見聴取や医療機器の点検等により、老朽化した機器の更新、新規購入ができました。</li> <li>・耐用年数を著しく過ぎた機器については故障のリスクが高まり、緊急の購入や修繕の要因となります。また、耐用年数を経過している機器が多数あるため、計画的更新を進める必要があります。</li> </ul>
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化、機能性等を視野に入れ、今後、担っていくべき診療機能にふさわしい医療機器の計画的更新を目指します。</li> </ul>		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	井川 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度も引き続き質の高い医療の維持と向上を目標に掲げ、医療機器の整備及び更新を進めてきました。</li> <li>・医療機器の購入及び施設の修繕を計画的に行い、患者満足度向上につながる成果を出すことを目標とします。</li> </ul>		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------